



2024年3月1日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

特別展「大哺乳類展3－わけてつなげて大行進」

報道内覧会のご案内

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）では、2024年3月16日（土）から6月16日（日）まで、特別展「大哺乳類展3－わけてつなげて大行進」を開催いたします。

ついては、**3月15日（金）14時から特別展「大哺乳類展3－わけてつなげて大行進」報道内覧会を開催**いたします。ぜひこの機会にご臨席いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。詳しくは、別添資料をご覧ください。

特別展「大哺乳類展3－わけてつなげて大行進」報道内覧会

【日時】2024年3月15日（金）（受付開始 13:45／受付終了 15:30）※事前申込 1媒体2名様まで

14:00～ 報道内覧会開始

14:20～ 監修者紹介・見どころ解説

16:00 報道内覧会終了

【会場】国立科学博物館 地球館 特別展示室（東京・上野公園）

特別展「大哺乳類展3－わけてつなげて大行進」

【会期】2024年3月16日（土）から6月16日（日）

【会場】国立科学博物館 地球館 地下1階 特別展示室（東京・上野公園）

【主催】国立科学博物館、朝日新聞社、TBS、TBS グロウディア

<本件担当者>

独立行政法人 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課（特別展担当）

松井、大橋、佐藤

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-3822-0111 FAX：03-5814-9898

<取材に関するお問い合わせ先>

特別展「大哺乳類展3」広報事務局（共同PR内）

担当：西田、三井、安田

TEL：03-6264-2382

E-mail：mammals3-pr@kyodo-pr.co.jp

特別展「大哺乳類展3－わけてつなげて大行進」 報道内覧会のご案内

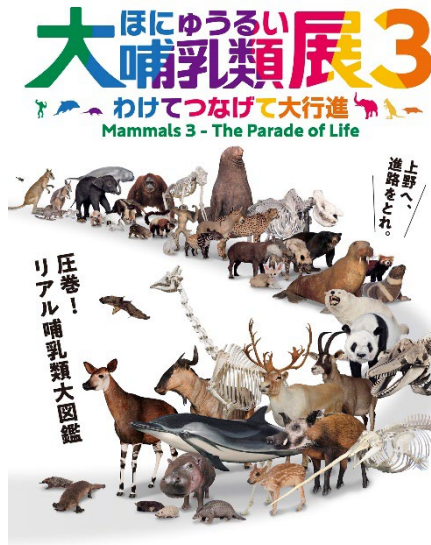
日時:2024年3月15日(金)14:00~16:00(受付時間13:45~15:45)
会場:国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室(東京・上野公園)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

国立科学博物館(東京・上野公園)では、2024年3月16日(土)から6月16日(日)まで、特別展「大哺乳類展3－わけてつなげて大行進」(主催:国立科学博物館、朝日新聞社、TBS、TBSグローディア)を開催します。

本展のテーマは、「分類(=わける)」と「系統(=つなぐ)」。見た目や内部の特徴、DNAなどをもとにグループ分けし、それらの関係性をつなぎあわせることで浮かび上がる哺乳類の不思議を紐解きます。本展では、500点を超える標本を通して、現在6,500種以上に分類される哺乳類の進化と多様化に迫ります。

本展の開催に先立ちまして、3月15日(金)14:00より、報道内覧会を開催いたします。当日は、本展監修の川田伸一郎(国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹)と田島木綿子(国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹)より、見どころ解説を行う予定です。下記概要にて開催致しますので、ご多忙かとは存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。



謹白

【特別展「大哺乳類展3」報道内覧会 開催概要】

- 日 時 2024年3月15日(金)14:00~16:00(受付時間 13:45~15:45)
 - 会 場 国立科学博物館 地球館地下1階 特別展示室(東京都台東区上野公園 7-20)
 - 内 容 14:00~16:00 自由内覧
14:20~ 監修者紹介・見どころ解説
 - 登壇者 川田伸一郎(国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹)
田島木綿子(国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹)
- ※開会式の実施はございません。受付を済ませた方から順次内覧いただけます。
※見どころ解説終了後、自由内覧終了時間まで、監修者は個別の質問にお答えいたします。
※16:00以降も自由内覧は可能ですが、**撮影は不可**となります。
※音声ガイドを無料でお貸出いたします。

【報道に関するお問い合わせ】

特別展「大哺乳類展3」広報事務局(共同PR内) 担当:西田、三井、安田
TEL. 03-6264-2382 / E-mail. mammals3-pr@kyodo-pr.co.jp
※当日の連絡先 070-4303-7271(西田)、090-7909-5164(安田)

特別展「大哺乳類展3」の見どころ

似ているけれど違う、似ていないけれど同じ！？ 哺乳類の進化の不思議に迫る！

フクロモモンガは、一見似ているニホンモモンガやムササビとは全く別のグループに分けられます。一方、見た目も生態も全く異なるカバとイルカは実は同じグループ…。こうした「見た目は似ているけれど本質は違う」や「見た目は似ていないけれど本質は同じ」の例を見ることは、哺乳類研究の魅力のひとつ。会場では、分類の手がかりとなる骨格や内臓などの貴重な標本も見比べながら、哺乳類の進化・多様化の不思議や適応の素晴らしさを楽しく学ぶことができます。



<皮膜をもつ哺乳類
(左からニホンモモンガ、フクロモモンガ、ムササビの剥製標本
／国立科学博物館所蔵)>



<鯨偶蹄目に分類される哺乳類
(左からコビトカバの剥製標本、スジイルカのFRP標本/
国立科学博物館所蔵)>

さらにスケールアップ！ 大迫力の「哺乳類大行進」！

会場中央を横断する大ステージでは、国立科学博物館が誇る哺乳類の剥製標本が「大行進」！2019年に開催した前回展よりもさらにスケールアップし、陸と海の哺乳類あわせて約200点の標本が、本展のテーマに即して関係性の近いグループごとに行進する様子を楽しめます。日頃公開されていないとっておきの標本もずらりと集結します。



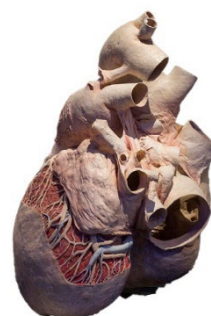
<2019年に開催した特別展「大哺乳類展2」での
「哺乳類大行進」の様子>

クジラの心臓の大きさを体感！初公開の標本たちも登場！

国内では唯一となるキタゾウアザラシの剥製標本をはじめ、アジアゾウの全身交連骨格、赤ちゃんクロサイ、プーズー、キボシイワハイラックスの剥製標本などが初公開。分類の手がかりになった頭骨や骨盤骨、内臓も含め約30点の標本がお披露目となります。そして、カナダのロイヤルオンタリオ博物館が所蔵する、現在地球上で最大の動物であるシロナガスクジラの心臓が、実物大レプリカになって登場！圧巻のスケールをご体感ください。



<キタゾウアザラシの剥製標本(国立科学博物館所蔵)>



<シロナガスクジラの心臓のプラスチックネーション(ロイヤルオンタリオ博物館所蔵／© Royal Ontario Museum)>
※会場では実物大レプリカを展示予定

別紙①

【注意事項】

<会場取材時のルール>

■ご参加は1媒体2名様までをお願いいたします。

(テレビ撮影など、撮影人数が必要な場合は上記の限りには含みません。)

■報道内覧会で撮影した画像・動画は、会期後および展覧会紹介の目的以外での転用・二次使用はできません。
また、無断使用は固くお断り致します。

■報道内覧会での撮影写真を掲載・放送していただく際は、展覧会名、会期、会場名、作品名、所蔵先・クレジット表記をご記載いただくようお願い申し上げます。

<撮影上の注意>

■三脚の使用が必要な場合は、作品および展示等に十分ご注意ください。

■ストロボ・照明での撮影はご遠慮ください。

■展示物のトリミングおよび展示作品の上に文字を載せることはできません。

■展示物にはお手を触れないようお願い致します。

<その他>

■展覧会場では、電源を供給することはできません。

■その他の施設の撮影、取材をご希望される場合は、別途事前にご相談ください。

3名のアーティストとのコラボレーションが決定!

各アーティストによる大哺乳類展3のために描き下ろしたアートワークを使用したコラボグッズが幅広いラインナップで登場します。

ヒグチユウコ | 画家



©Yuko Higuchi



かにはスケッチブックを持ってドローイングやクッキー、そして作品制作をよよく通っていました。そんな思い出のある博物館なので、今回このように関わることができて感動もひとしおです。今回のアートには陸の哺乳類と海の哺乳類、そしてちよこつと謎の生き物もいますが、あれらもみんな哺乳類です。展覧会を今から楽しみにしています。

多数の著書を出版。近年ではGUCCIとのクリエイションも行うほか、国立科学博物館で開催の特別展「大哺乳類展2-みんなの生き残り作戦」(2019)「植物 地球を支える仲間たち」(2021)にもアートを提供。

にしむらゆうじ | イラストレーター・まんが家・アニメーター



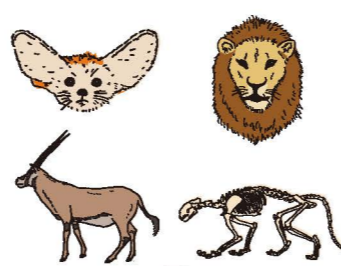
©studio U.G. - Nishimura Yuji



動物が好きです。旅行先などでわたくしが一番興奮するのは、野生動物を見つけた瞬間です。北海道ではエゾシカ、山口県ではサルを見ました。とても感動しました。とはいえ、地元の秋田に帰ると「熊出没注意」なんて看板がそこらにあるのでうかうかおもしろいと思いたくありませんが、動物は大好きです。そんな気持ちで描きました。

SNS上でのイラストやまんがの公開、LINEスタンプ販売などで多くのキャラクターを生み出し、その中でも「ごきげんばんだ」や「こねずみ」「ラブリット」など「スタジオUG」の仲間たちを中心とした作品を多く発表している。

NAIJEL GRAPH | アーティスト



Mammals 3
- THE PARADE OF LIFE -

©NAIJEL GRAPH



小学生の頃、博物館や美術館に行くのが大好きでした。その思い出は今大人になってもよく覚えてます。お土産は僕にとって宝物でキーホルダーはランドセルに付けてたし、ポスターやペナントも部屋に飾ってました。今回僕が作ったグッズもそんなみんなの思い出のグッズになってくれたら幸いです。

イラストやコラージュ、立体などの作品を制作する。Beastie BoysのオフィシャルグッズやTシャツなどを手掛ける。またadidas originalsとはコラボでSTAN SMITHをリリースした。アメリカやロンドン、香港など海外での個展の活動も盛んに行っている。

グッズについての詳細は、決定次第展覧会公式サイトでお知らせします。

音声ガイドナビゲーターは声優の内田雄馬さん!



多くの人気アニメキャラクターを演じ、歌手としても活躍する声優・内田雄馬さんが、音声ガイドナビゲーターに就任! 哺乳類を巡る知の冒険へご案内します。

『呪術廻戦』伏黒恵、『シャングリラ・フロンティア』サンタク/陽務家郎、『MFゴースト』片桐夏向、『ちいかわ』ラッコ、『BANANA FISH』アッシュ・リンクスなど人気アニメ作品に多数出演。2018年にアーティストデビューを果たし、日本武道館公演や全国ライブツアーを敢行。2023年には3rdアルバム『Y』をリリースするなど音楽分野でも活躍中。

音声ガイド料金(税込)

会場レンタル版
貸出料金(お一人様1台)

600円

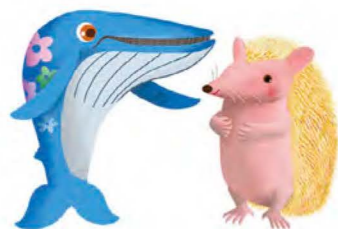
アプリ配信版
「聴く美術」(iOS/Android)

販売価格 650円

※配信期間中は展示室外でも視聴可能。
※配信期間は展覧会会期中を予定。

展覧会ナビゲートキャラクター

本展をナビゲートするため、シロナガスクジラとハリテンレックをモデルにした公式キャラクターが登場! 展示の内容を皆さんにわかりやすくお届けします。



チケット

入場料(税込)

一般・大学生	小・中・高校生
前売券	500円
1,900円	
当日券	600円
2,100円	

※前売券は2024年2月15日(木)から3月15日(金)まで販売。※未就学児は無料。障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料。※本展を観覧された方は、同日に限り常設展示(地球館・日本館)もご覧いただけますが、常設展示の開催時間内に限ります。※会場内の混雑等により、ご入場を制限させていただきます。※詳細は公式サイトにて発表します。

各種企画券も販売予定です。

アクセス

国立科学博物館 (東京・上野公園)

National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

JR「上野」駅(公園口)から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅(7番出口)から徒歩10分
京成線「京成上野」駅(正面口)から徒歩10分

*敷地内に駐車場および駐輪場はございません。



大哺乳類展3

ほにゆるい わけてつなげて大行進
Mammals 3 - The Parade of Life



上野へ、
進路をとれ。

リアル哺乳類大図鑑
圧巻!

2024. 3.16日 ▶ 6.16日 国立科学博物館 東京・上野公園
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

開館時間: 9時~17時(入場は16時30分まで) 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
主催: 国立科学博物館、朝日新聞社、TBS、TBSグロウディア 協賛: 鹿島建設、光村印刷 後援: 東京都恩賜上野動物園 展覧会公式サイト: <https://mammals3.exhibit.jp>
展覧会公式X(旧Twitter): @mammals_3 お問い合わせ: 050-5541-8600(ハローダイヤル) 03-5814-9898(FAX)
※掲載している標本は展示する標本と異なる場合がございます。 ※会期・開館時間・休館日等は変更になる場合がございます。最新情報は展覧会公式サイトおよび公式Xでご確認ください。

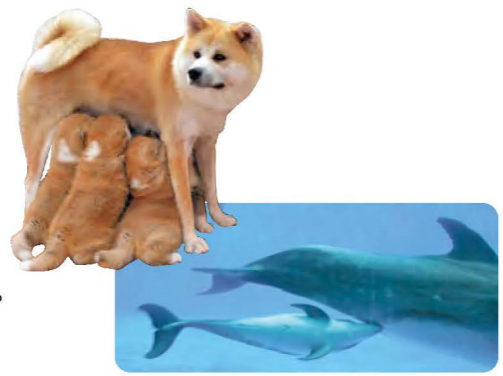
[展覧会公式サイト] <https://mammals3.exhibit.jp> [展覧会公式X(旧Twitter)] @mammals_3
[お問い合わせ] 050-5541-8600(ハローダイヤル) 03-5814-9898(FAX) [国立科学博物館サイト] <https://www.kahaku.go.jp>



分類と系統から哺乳類の進化の不思議に迫る!

哺乳類とは

陸上で生きる4本足の秋田犬も、
流線型の体で水中に生息する
ハンドウイルカも、
母親がお乳を飲ませて
子を育てるという共通点があります。
このような特徴をもつ動物を
哺乳類と呼びます。



標本数500点以上! 大スケールの展示

大好評を博した2019年の特別展「大哺乳類展2」から5年、
大哺乳類展が再び上野に帰ってきます。
今回のテーマは「分類(=わける)」と「系統(=つなぐ)」。
見た目や内部の特徴、DNAなどをもとにグループ分けし、
それらの関係性をつなぎあわせることで
浮かび上がってくる哺乳類の不思議に迫ります。



クジラの心臓の 大きさを体感!

カナダのロイヤルオンタリオ博物館が
所蔵する、地球上で現在最大の動物
シロナガスクジラの心臓が
実物大レプリカになって登場!



シロナガスクジラの心臓の
プラスチックレプリカ
ロイヤルオンタリオ博物館所蔵/
©Royal Ontario Museum
※会場では実物大レプリカを展示予定



大迫力の 「哺乳類大行進」!

約200点の標本を
関係性の近いグループごとに紹介します。



似ているけれど 違う、 似ていないけれど 同じ!?

剥製や分類の手がかりとなる
骨格や内臓などの
貴重な標本を比較しながら
哺乳類の進化・多様化について
解説します。

タテガミヤマアラシ
ユーアーコンタグリリス
げっし
齧歯目

見た目は
似ているけれど...
**起源の異なる
グループに
分類される**

ヨーロッパハリネズミ
ローラシアテリア
げっし
異無盲腸目

ハリテンレック
アフリカ獣類
アフリカトガリネズミ目

ハリモグラ
原獣類
かんこう
単孔目

スジイルカ

見た目も生態も
全然違うけれど...
**実は同じ
グループに
分類される**

コビトカバ

どちらもローラシアテリア
げっし
鯨偶蹄目



初公開の標本たちも登場!

国内では
唯一の
剥製標本!

キタゾウアザラシの
剥製標本

クロサイの
赤ちゃんの
剥製標本

アジアゾウの頭骨標本
※会場では全身交通骨格を
展示予定

プーズーの剥製標本

キボシイワハイラックスの剥製標本